

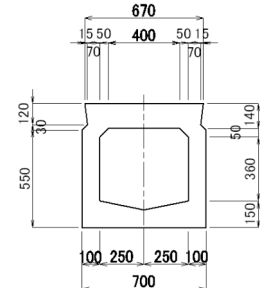
技術情報

・・・・旧建設省ホロー桁タイプの補強に、アウトプレート工法を用いました

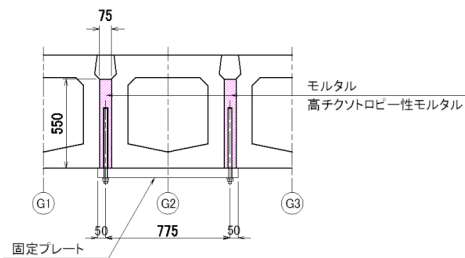
右図に示す旧建設省タイプホロー桁の場合、主桁に多数の鋼材が配置されており、削孔することが困難です。(不可能ではありません) また、間詰めも主桁上部の切欠き部しかありません。

このタイプの橋梁に、今回初めてアウトプレート工法による補強を行ないました。

「昭和50年制定 建設省
プレテンション方式PC単純中空けた」
主桁形状図 S=1.20



特長その1

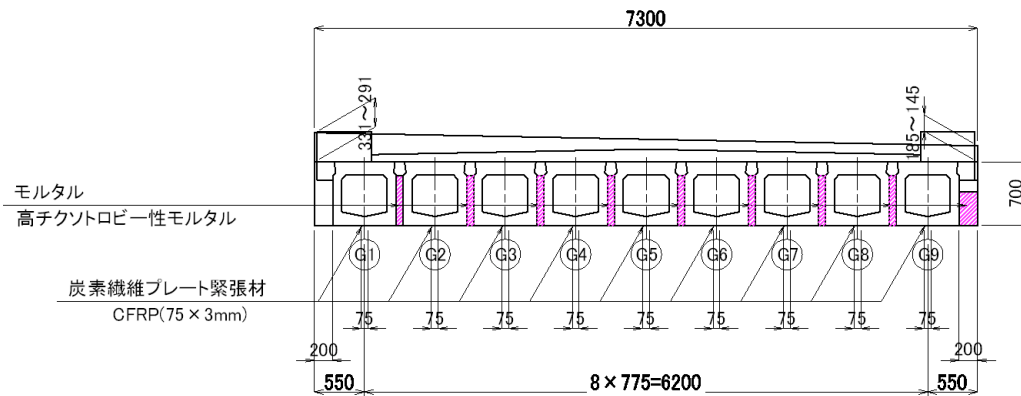


主桁間に高チクソトロピー性モルタル「なおしタル G」を注入し、注入した部分に、固定プレートおよび中間定着体のアンカーを設置します。

特長その2

高チクソトロピー性モルタル「なおしタル G」を用いることで、充填性能、付着性能が向上しました。(なおしタル G については、専用 HP を参照願います。)

補強断面図



※:モルタルについては 下側からの施工のため、充填性を考慮し、高チクソトロピー性モルタルを使用する。

今まで、旧建設省タイプ I 桁については、木下橋での実績があります。今回の採用で、全てのプレテンション桁の補強が、アウトプレート工法で可能になります。

発注 : 奈良県高田土木事務所 橋梁名 : 北今市橋

なお、3月中旬に現場見学会を開催する予定です。参加御希望の方は、事務局まで！！